



こんにちはメロディーです。

子どもを理解した上で、楽しく子育てしたいと願う親たちで集まっています。
～ 私たちの子どもの多くは 発達障がい と言われています。 ～



一人で悩んでいませんか？集団生活になじめなかったり、独特な個性を発揮する子どもに手をやいていませんか？



この会は 同じ課題に寄り添う仲間の会です。



専門家に相談して客観的な情報を得ることも大事！



同時に ①親自身が元気になること



②一番ほしい、日々の生活に役立つ情報や方法を、実体験を武器に！リアルに伝え合うこと



そして ③わが子を理解した上で！ずっとずっと子どもを愛おしい存在と思えること を大切に考えています。



私たち、時々『痛み分け』しながら、なんとか子育てしています。いっしょにひと息つきませんか？

親も納得！広汎性発達障害とは？

◆生まれつきの脳の機能的な障害からきています。本人の性格や親の育て方ではありません。じっと待つことが苦手だったり、うまく相手と関われなかったり、ひとつのことに固執したり.....

早くに特性を知り、適切な関わりをすることで、お子さんが自信を持って成長していけます。

新潟県発達障がい者支援センターRISE や

<http://www.niigata-rise.net/>

日本自閉症協会のホームページで確認できます。

<http://www.autism.or.jp/>

メロディー活動紹介

◆定例会

◇会場：ふぁみりあ

◇毎月第4土曜日 10:00～12:00

◇8月は子どもといっしょの特別企画を実施

◆内容・テーマに沿った話し合いや悩みごと困りごと相談

・これが大事！ちょこっとティータイム

・情報交換⇒研修会など積極的に参加します！

◆随時悩みごとにつきあいます。専門家ではありません。遠慮はいりません。



♪ メンバーの紹介 ♪

保育園から成人までの子の保護者約 30 名が登録し、交流しています。

2歳で発達障害と診断され、この先どうしたらよいかという気持ちで毎日泣いていました。

メロディーを知り、入会して、『自分と子どもの安心できる居場所をみつけた!』という感じがします。

同じ想いの仲間と話すことで自分自身がホッと、また先輩ママの経験談を聞くことで参考になることがたくさんあります。『自分一人じゃないよ!』という気持ちになり、以前より強くなったように思います。

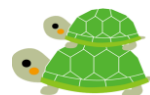


小学生の子の母

心が疲れるとついイライラ。子どもに当たって自己嫌悪に陥ってしまいがちです。そういう時、どうしたらよいのだろうと落ち込むことはありませんか？

私はメロディーの友達に相談にのってもらって何とかやってきました。

子育てに正しい答えはないと思います。自分だけの思いで育てるよりも、人の意見、時に発達障害で苦勞してこられた方の意見はとても大切だと思っています。一人よがりにならず、自分のペースで子育てしていけたらと思っています。



高校生の子の母

小3で発達障害と診断され、ようやく子どもの言動に合点がきました。しかしこだわりはエスカレートし、うまくいかないことがあるとすべては私のせいになり、乱暴・暴言で親子ともども疲れきりました。

あれから7年。今は高等部へ通っています。

障害は治りませんが、日々工夫です。ストレスは常にMAX手前。だからメロディーの仲間の存在が大切です。まだまだ未開拓の障害です。いっしょに学びあって、愚痴りあって、子どものためにがんばっていきましょう！

高校生の子の母

アスペルガーという診断にたどり着いたのは小学校5年の春でした。

よく泣く子で、小さな物音や布団におろした感覚に敏感に目を覚まして泣き続けました。物心つくと道路標識やマークに興味がいきました。一人遊びを好み、積木やミニカーを一列に並べていました。3歳頃、同じ年頃の子が近づくことを怖がりました。それでもなんとか人並みに集団生活の輪にいれようと努力し、それが子どもの心を追い込んでいきました。

この子の生きた時代、障害の知識と認識はありませんでした。早い時期に障害という認識を持てること、それが一番ほしかったことです。できないことをできるようにがんばらせるだけでなく、個々の力を引き出して自分に自信が持てるようになるための方法が、きっとあるはずです。 20代の子の母

♪ナンバーワンにならなくてもいい もともと特別なオンリーワン♪
大切ないのちがもっと光り輝きますように



連絡先：代表 小林幸子

tel/fax 63-0262 sachi-kodemari@titan.ocn.ne.jp